

ウイングアーク 1 s t 健康白書

2023年7月発行

ウイングアーク 1 s t 株式会社

WingArc **1st**

The Data Empowerment Company

健康経営にかける思い

社員の幸福と健康寿命の延伸をテーマに長く元気に働けるよう、様々な健康課題の改善に全社で取り組むため、2020年3月「健康宣言」を制定し、健康経営を全社で推進しています。

健康宣言

ウイングアーク1stグループは、Visionである「Empower Data, Innovative the Business, Shape the Future.」を実現するためには、最も大切な資産である社員のパフォーマンスが非常に大切だと考えています。

社員のパフォーマンス最大化のためには、心と体の健康は最も優先すべきものです。

当社は社員の健康を維持向上する事を一番に考え、心身ともに最高のコンディションで業務にあたることのできるような様々なサポートをする企業を目指します。



ウイングアーク1st株式会社
代表取締役 社長執行役員CEO
田中 潤

健康経営で目指すこと

ウイングアーク1stでは、多様な働き方を推奨する中で100%リモートワークを推進しています。自律的に働くことを自己管理しつつ、顔が直接見えない中で社員同士が円滑かつ自由闊達なコミュニケーションを図りながら業務を推進し、最大のパフォーマンスを発揮していくことが求められています。

そのため、健康づくりを全社、職場毎、個人毎の施策階層で推進・浸透させていくことで社員一人ひとりの心と体を整えていくとともに、働きやすい職場環境作り、ワークライフバランスの充実を図ることで働く幸せとワークエンゲージメントの向上に繋げていきます。それらによって、全社的なプレゼンティーズム※やアブセンティーズム※の損失を減らしていくことを目指しています。

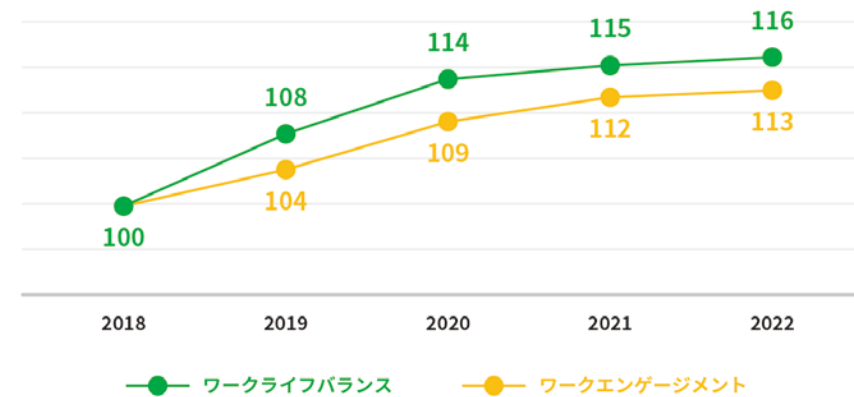
※プレゼンティーズム：欠勤にはいたっておらず勤怠管理上は表に出てこないが、精神面を含め健康上の理由で仕事のパフォーマンスが低下している状態

※アブセンティーズム：病気や体調不良によって勤務できない状態



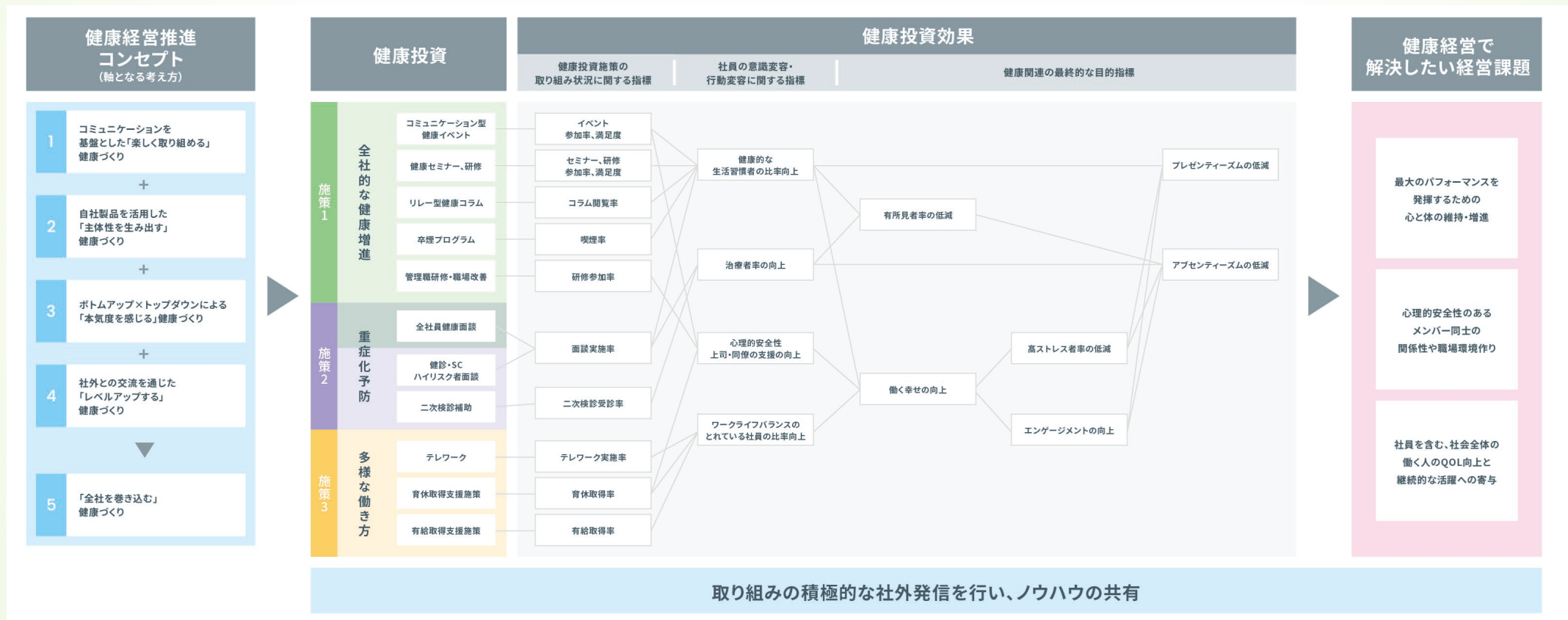
ウイングアーク1st株式会社
執行役員（人材・組織文化&サステナビリティ担当）
兼 Wellness推進室長
吉田 善幸

ワークライフバランスの充実とワークエンゲージメントの向上
(2018年度の結果を100とし、その後の推移)



健康経営戦略マップ

健康×コミュニケーション活性化をテーマに健康経営で解決したい「経営課題」に向かって、様々な健康施策を実施しています。また、その取り組みを積極的に社外発信しています。

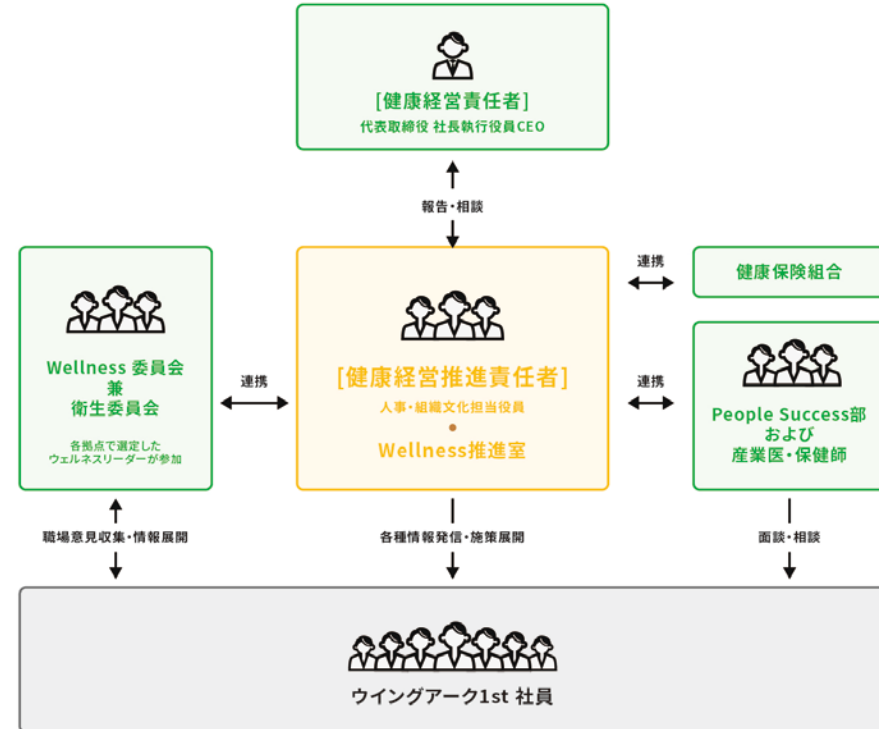


健康経営推進体制

当社では、経営トップが健康経営責任者、人事・組織文化担当役員が健康経営推進責任者となり、重要な企業戦略として健康経営を推進しています。

また、健康経営の専属組織であるWellness推進室を設置し、ウェルネスリーダーと連携しながら、健康経営の施策を企画・推進し、社員1人ひとりへの浸透を図っています。

また、健康保険組合（関東ITソフトウェア健康保険組合）とも密な連携を図りながら、コラボヘルスを積極的に推進しています。



ウイングアーク1stの 健康経営推進には欠かせない ウェルネスリーダーの存在

様々な部門や全国のオフィスからメンバーが構成されるウェルネスリーダー。月に1回の衛生委員会を兼ねたWellness委員会では、健康に関する情報共有をはじめ、各施策の推進についてアイデア出しや活発なディスカッションをしながら活動しています。

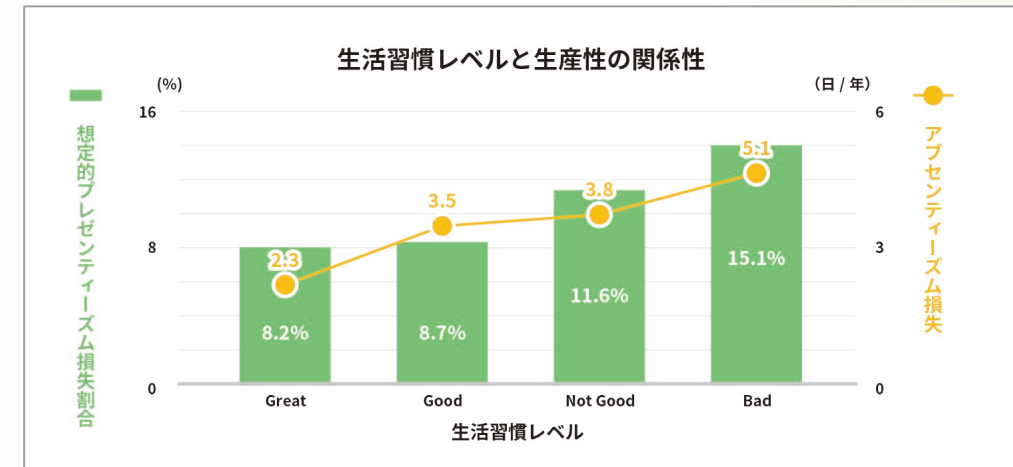
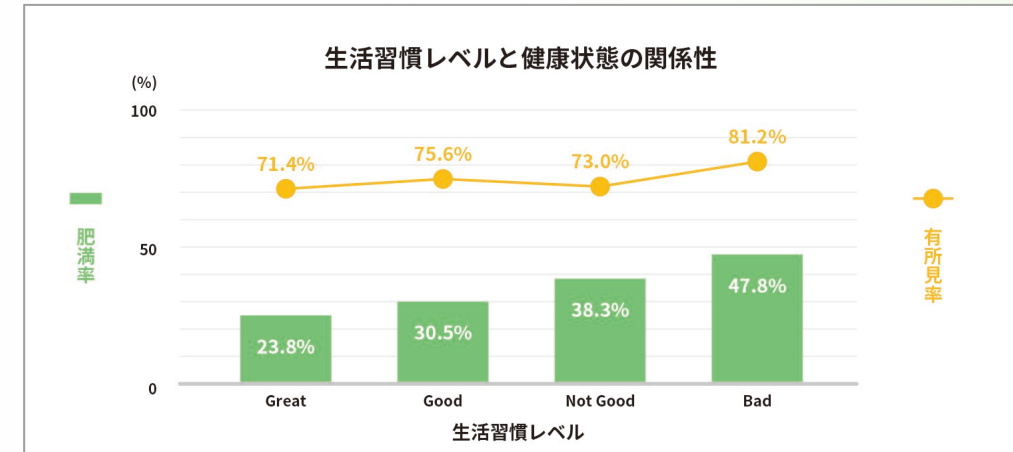
各部門・オフィス単位や個人で取り組んでいた健康施策をウェルネス委員会に持ち寄り、全社へ情報発信・展開したり、面白い取り組みを楽しく考える場になっていて、いつも笑いが絶えません。イベント開催時には、ウェルネスリーダー自ら積極的に情報発信し、健康施策推進リーダーとして周囲の人を巻き込む役を担ってくれています。



健康課題

健康関連データ分析の結果、生活習慣レベル※1が低い社員ほど、肥満率※2や有所見率※3が高く、プレゼンティーズム、アブセンティーズムの損失割合が大きい状況となっています。このことから健康的な生活習慣を促進していくことが、心と体の健康、そして生産性にも好影響を与えると認識しています。

1. 生活習慣レベル：生活習慣の健康度をはかるライフスタイル調査を全社員に実施しており、Great～Badでレベル分けしています。
2. 肥満率：BMI = 体重 (kg) ÷ 身長 (m) ÷ 身長 (m) で計算される肥満度判定の割合です。
3. 有所見率：健康診断結果において、厚生労働省が定める保健指導判定値、受診勧奨判定値の対象になる人の割合です。



主要な取り組み

コミュニケーション活性化を伴いながら社員一人ひとりの心と体の健康づくりを促進しつつ、職場のサポートを向上させる楽しいオリジナルな取り組みを通じて、全社的な健康増進を推進しています。

全社ウォーキング大会



毎年、春と秋の年2回、自社製品のMotionBoardを活用し、全社ウォーキング大会を実施しています。毎回様々なテーマ設定で取り組みますが、参加率はどの会も80%超です。2021年秋のウォーキング大会は、「ウォーキングで社会貢献」と題して、社員の歩いた歩数を食事に換算し、支援が必要な子供たちに食事を届けました。参加率も過去最高の全社員の内84%の社員が参加しました。

 施策の詳細はこちらをご覧ください
<https://note.wingarc.com/n/n4dd20fb3d78c>

リモート健康祭り



健康×コミュニケーションをテーマに、オンラインでの社内交流イベントを実施しています。健康クイズや体を使うチャレンジ等で健康について学びながら、社員同士で協力し得点を競います。部署ごとに実施することで、リモートワーク下で不足しがちなコミュニケーションの促進を図りました。自社製品のdejirenを活用し、製品の理解を深める場としても活用しています。

 施策の詳細はこちらをご覧ください
<https://note.wingarc.com/n/nae00d1012f64>

ヘルスケアリレー



全社員でつなぐ、リレー型健康コラムを社内ポータルサイトで配信しています。「お酒とダイエットって両立できないのー!!?」「オリンピックで話題になったし、スケボー始めたら良いこと尽くめだった件」などユニークなテーマのコラムで、健康意識の低い社員にも関心を持ってもらえるように工夫をしています。これまでに合計140本を配信しています。

 施策の詳細はこちらをご覧ください
<https://note.wingarc.com/n/n5e2eacbdca96>

主要な取り組み

ウィングアーク1stでは全社員参加型の健康増進に取り組んでいます。
自身の健康づくりを行うことが当たり前の会社を目指しています。

喫煙者ゼロ宣言



2021年5月に「[リモート禁煙強化宣言](#)」を発表し、就業時間中の禁煙規則、禁煙外来の受診料サポートや、喫煙者の家族に向けた禁煙に向けたサポートのお願いを当社代表から手紙送付する等の施策を行ってきました。
2023年5月、健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組む健康経営銘柄企業として、社員の禁煙施策を強化し、2025年には喫煙者ゼロを目指すことを宣言。喫煙者ご家族の協力を得ながら推進しています。

2025年喫煙者ゼロ宣言はこちらをご覧ください
<https://corp.wingarc.com/public/202305/news2577.html>

全社員ストレッチ



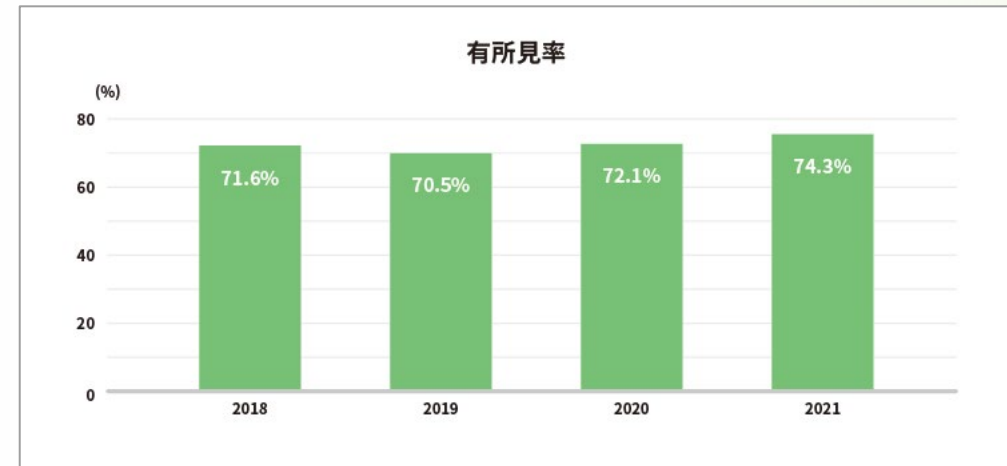
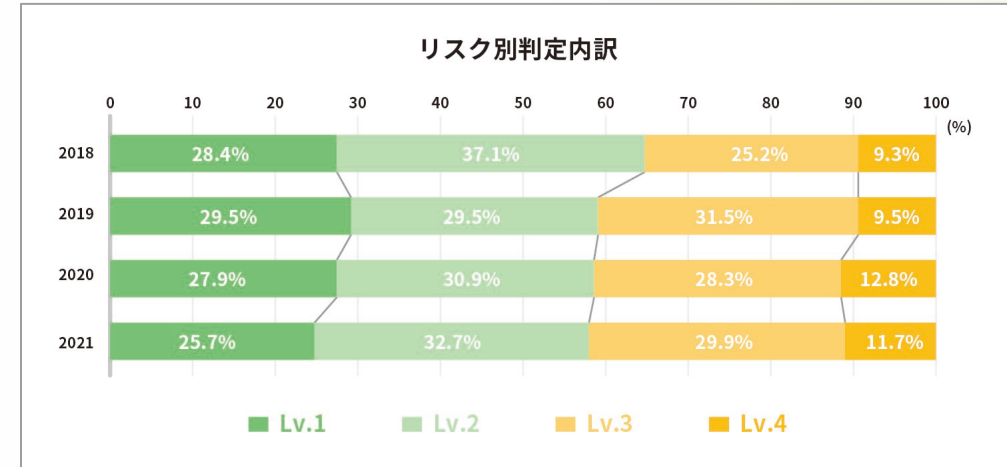
2023年4月、全社リモートワーク継続の中で、3年ぶりにリアル社員総会が開催されました。Wellness委員会の企画で、会場まで4,000歩以上歩いて会場に来到、スムーズーやプロテインプレゼント。更に、ダイエットアドバイザーの資格を持つWellnessリーダーがインストラクターになり、全社員でストレッチを実施しました。当日のストレッチ動画は、毎週火曜日の全社セッションで流し、全社員ストレッチを継続しています。

健康課題

当社では、産業医や保健師面談の体制強化を行い、健診結果に基づく有所見率※の低減に取り組んでいます。

2020年度から2021年度にかけて、有所見者の割合が微増傾向にあります。コロナ禍による通院控え、リモートワークに伴う身体活動量の低下が要因として推測されます。全体の健康意識の底上げと同時に、二次健診の受診勧奨や保健指導をより強化し、リスクレベルが進行しないように対策を行っていきます。

※厚生労働省「標準的な健診・保健指導プログラム[改訂版]」の基準に基づき集計、血圧・脂質・血糖・肝機能のうちいずれか1つ以上が受診勧奨判定値である場合にはLv.3（更に厳しい社内基準に抵触する場合はLv.4）、いずれか1つ以上が保健指導判定値である場合にはLv.2、全てが基準範囲内であればLv.1とし、Lv.2以上を有所見と定義



主要な取り組み

全社員健康面談



全社員が保健師と面談を行う機会を設けています。2021年度は面談100%達成。面談の満足度アンケートでは「満足」「とても満足」を選んだ社員は72%。「健診結果の悪いところを相談できた」「気にしていなかった生活習慣の問題点に気づくことができた」などのコメントが寄せられ、非常に価値を感じてもらえているため、継続して取り組みを行っていきます。

ナースサポート



2021年度の健康診断結果から、産業医が示した数値（BMI30以上）の社員に対して、保健師・管理栄養士の指導・支援による「生活習慣の改善」で「次回健診結果の数値改善」を目的とする「ナースサポート」を実施しています。この活動により生活習慣病予防及び特定保健指導対象者の減少を目指しています。

精密検査・特定保健指導



精密検査・特定保健指導については、就業規則を改定し、原則受診を義務付けています。

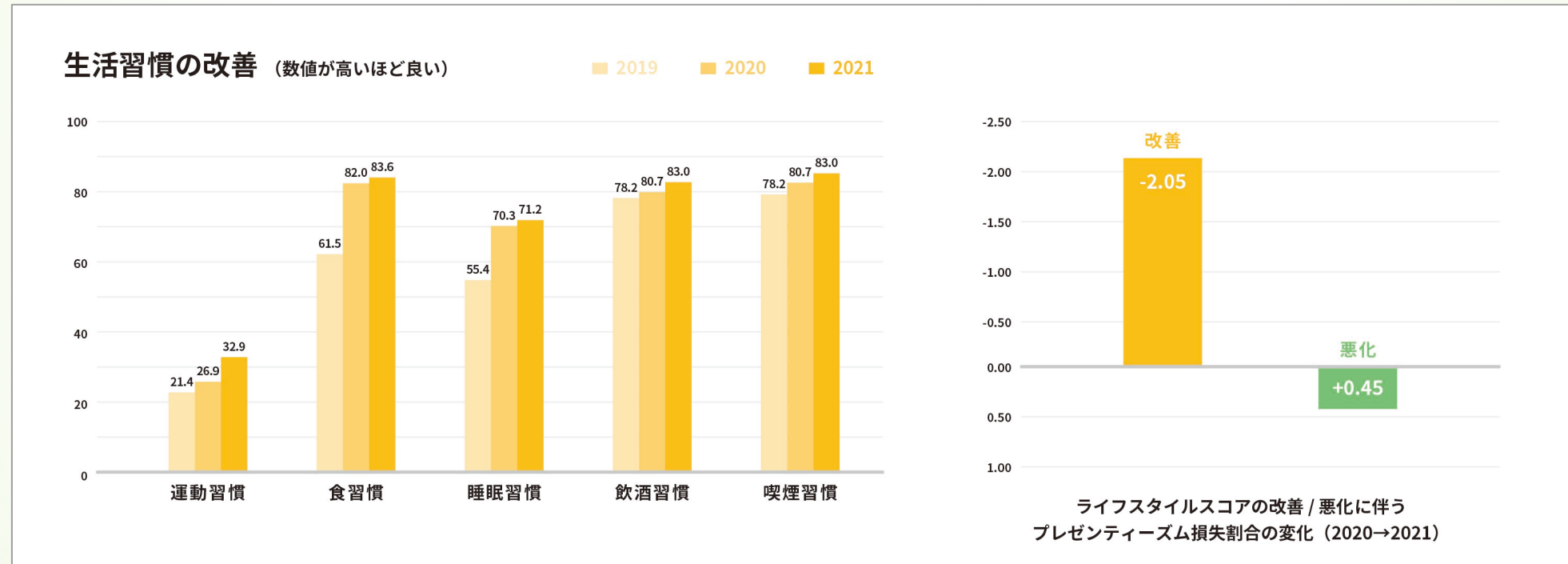
また、健康保険組合と意見交換の場を設け、特定保健指導の実施率向上の方法について協議し、保険者と事業所が連携できる体制づくりに努めています。



施策の詳細はこちらをご覧ください
<https://note.wingarc.com/n/n07bb48570ba0>

生活習慣の改善

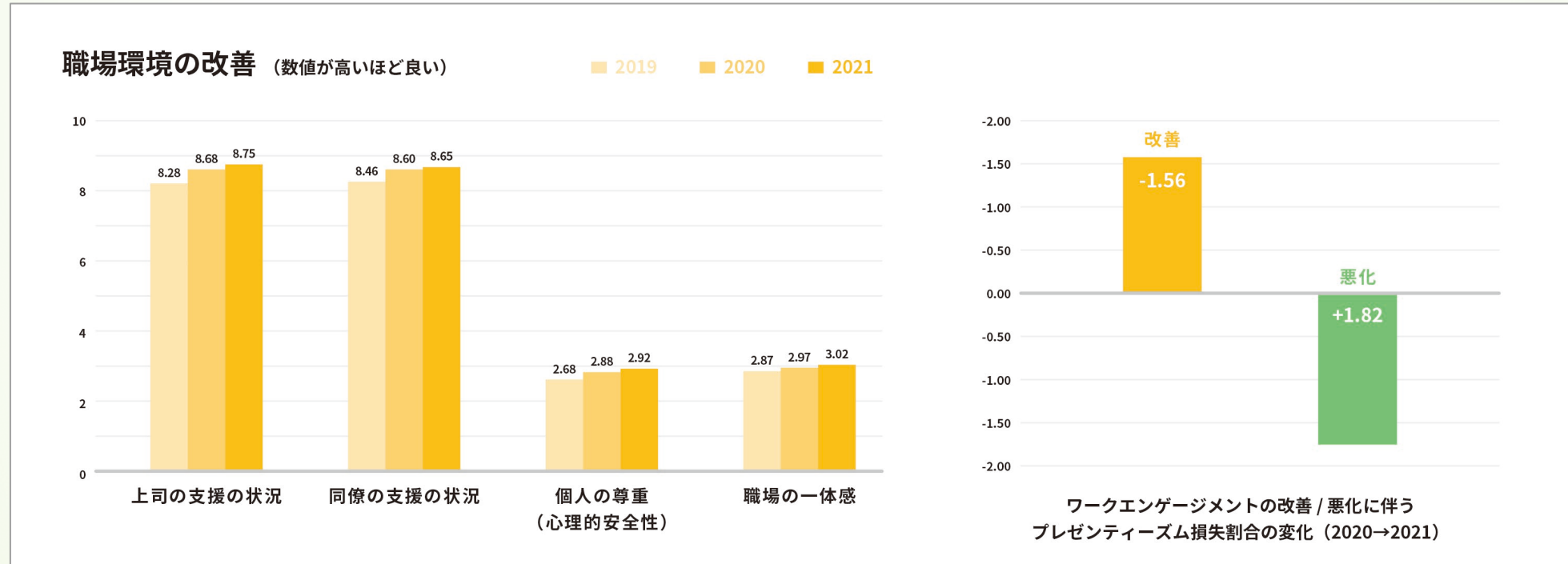
生活習慣の改善に取り組んだ結果、問診回答における運動・食事・睡眠・飲酒・喫煙の全項目で改善がみられ、その中でも特に運動習慣者比率、喫煙率が大きく改善しました。



そして、直近1年間でライフスタイルスコアが改善した群はプレゼンティーズム損失割合が2.05%改善した一方で、ライフスタイルスコアが悪化した群はプレゼンティーズム損失割合が0.45%増加する結果となりました。

職場環境の改善

個人と職場へのアプローチを通じてメンタルヘルスケア対策に取り組んだ結果、上司・同僚の支援や心理的安全性、職場の一体感などの職場環境が改善しました。それら職場環境の改善は前述のワークエンゲージメント改善にも寄与しています。そして、ワークエンゲージメント改善はプレゼンティーズム損失割合の低下にも繋がっています。※



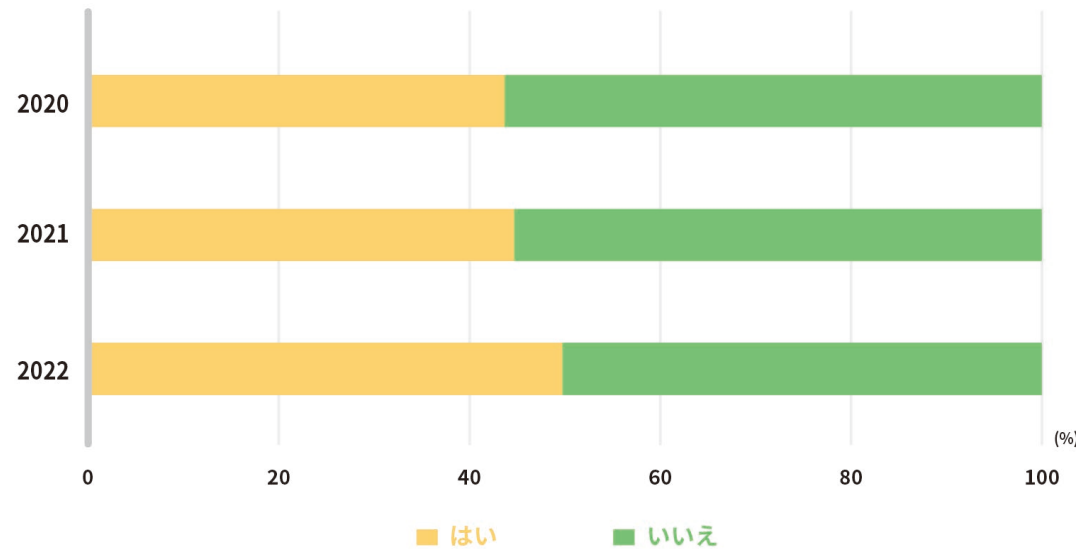
※ワークエンゲージメントが改善した群はプレゼンティーズム損失割合が1.56%改善した一方で、ワークエンゲージメントが悪化した群はプレゼンティーズム損失割合が1.82%増加した。

健康への取り組み意識の変化

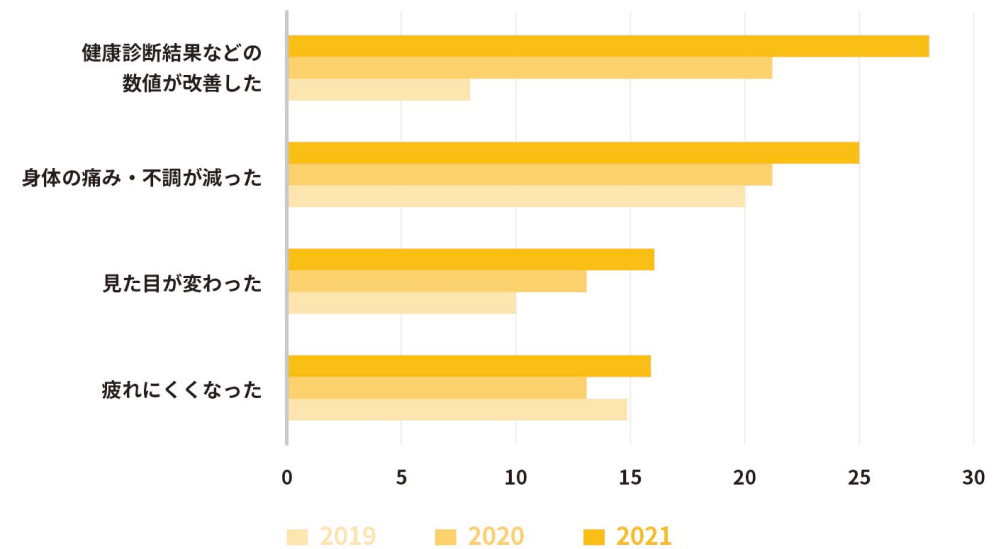
健康作りに関するアンケートを実施しており、「会社の健康作り施策に参加したことをきっかけに新たに取り組んだり、意識しはじめた生活習慣はありますか？」という質問で、毎年「はい」と回答する社員が増加しています。

また、健康作りに参加したことによって、好影響を受けたと回答する社員も増加しています。

新たな取り組み・意識の変化

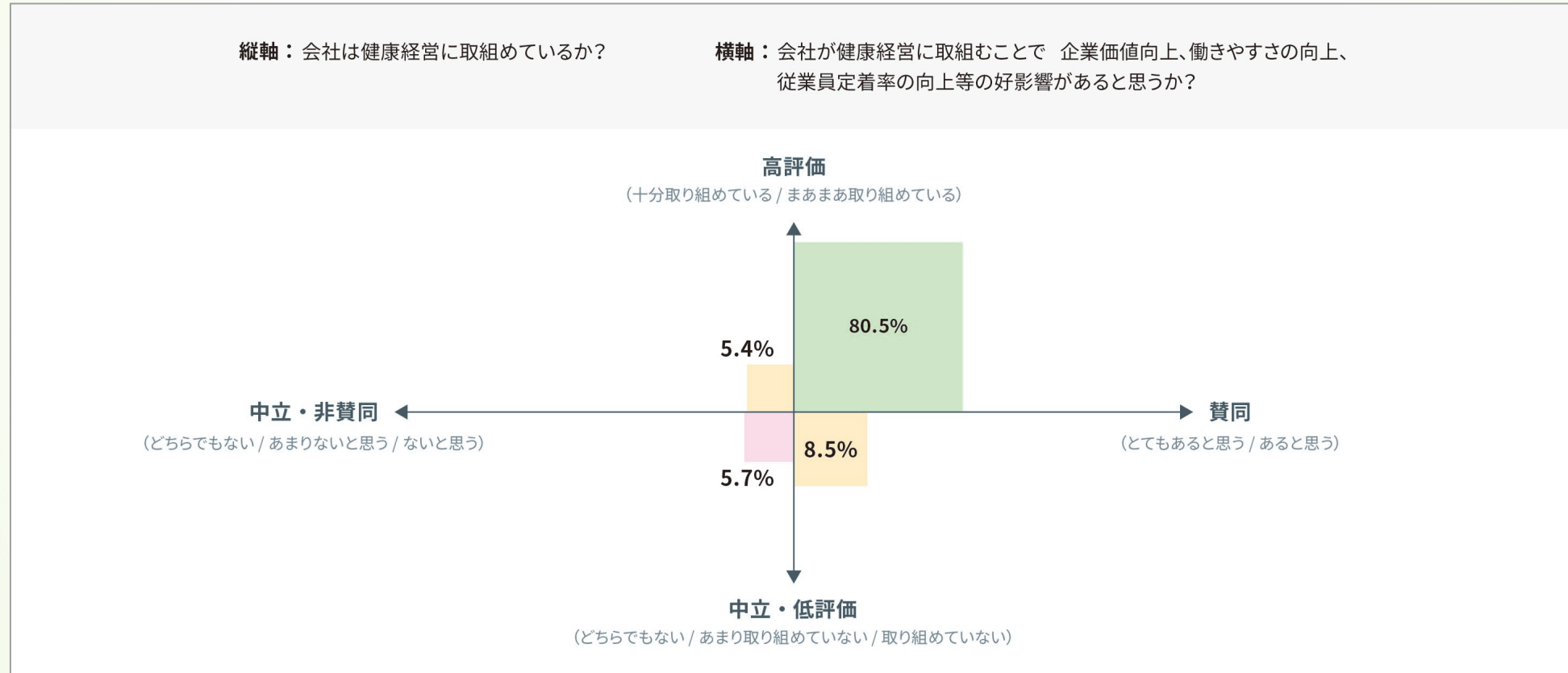


健康作りの取り組みによる好影響



社員への健康経営の浸透

健康経営が全社に浸透しているか、その状況を毎年アンケートで確認しています。
その結果、8割超の社員が、会社が健康経営に取り組む意義を感じ、且つ健康経営に取り組んでいると評価しています。



健康経営銘柄2023に選定

健康経営の取組みの結果、経済産業省と日本健康会議が顕彰する「健康経営銘柄2023」に初選定されました。また「健康経営優良法人2024（大規模法人部門：ホワイト500）」として昨年につき、4年連続の認定となります。

また、スポーツ庁が推進する、従業員の健康増進のためにスポーツの実施に向けた積極的な取り組みを行っている企業「スポーツエールカンパニー2024」としても4年連続で認定されました。

さらには、フルリモートワーク下で8割以上の社員が参加し、新たなコミュニケーションを生み出した全社ウォーキング大会が評価され、『月刊総務』主催「eコミュニケーショングランプリ」にてグランプリを受賞しました。

詳細はこちら
[ウイングアーク1stの企画「全社ウォーキング大会」がeコミュニケーショングランプリを受賞！勝利の秘訣はWellness委員会の団結力！？](#)



「健康施策に取り組むことが、楽しい。働くことに幸福感を感じる。」



ウイングアーク1stは、こんな会社を目指します。

そして将来、健康経営という言葉を使わなくても、当たり前社員が健康で働き続ける会社でありたいと思います。

これからも様々な健康施策を発信し、チャレンジし続けていきます。

Wing Ark 1st

The Data Empowerment Company

データに価値を、
企業にイノベーションを。

私たちは「データ」が、これからの新しい資源として社会から求められるようになると考えています。
その期待にこたえられる企業とし、企業理念に The Data Empowerment Company を掲げています。